



「みのかも文化の森」の学校活用

～博物館で学び続ける人を育てる～

1. みのかも文化の森とは

美濃加茂市のほぼ中心に位置する「みのかも文化の森・美濃加茂市民ミュージアム／教育センター」（以下：文化の森）は、2000年（平成12年）10月に開館しました。設立前から学校教育との連携・市民参画・地域づくり・自然との共存をコンセプトに、各学校の年間指導計画に位置付いた授業、体験学習を行う場として、支援体制をつくってきました。



2. 「文化の森」がめざしてきた学習

「文化の森」にある「人・もの・こと・場」を活かした様々な学習を学校とともに立案し、「森の学校」として、美濃加茂市が掲げる「FROM 0歳プラン」にたった、ミュージアムでの学習を行うのが特色です。（図1参照）

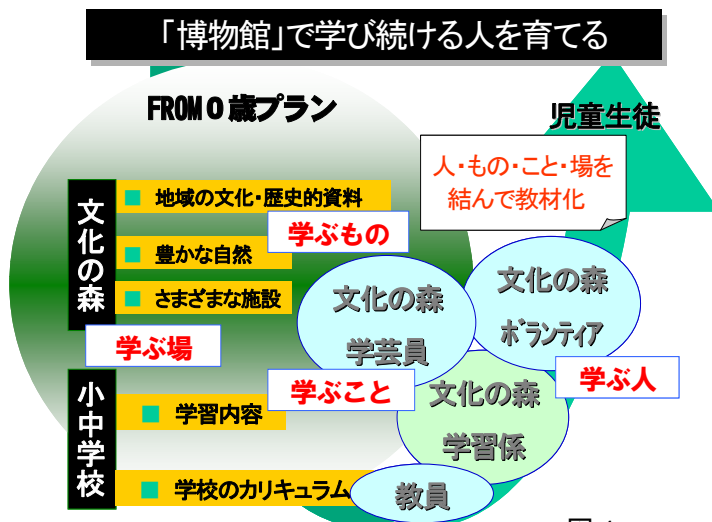


図1

(1) 学習の対象

学校活用は、市内小・中学校の年間指導計画に位置づけられ、全小・中学校が活用しています。その他活動を希望する市内の保育園、市外の学校も受け入れています。平成22年度は総来館者数約87,000人でした。うち学校活用（幼・保を含）は約8,720人、学校活用に参加したボランティアは延べ人数約300人でした。市内の小学生は全て年に1回は来館しています。

(2) 「森の学校」という考えを持ったミュージアム

文化の森にある「本物」。例えば、四季おりおり姿を変える自然、太古の人々が住んでいた証である遺跡や遺物、自然と一体化した彫刻、いろいろな経験や知識のある人々。それらの素材を使い、学校ではできないことを体験します。体験を通じて感じたことそのものが学習であると考えます。おもわず口をついて出たつぶやき、友だちやボランティア、学芸員と話したことやその人々との関わり、これらの積み重ねを大切にしていきます。そのような新しい学習や教育のあり方を築いていきたいと考えます。

「文化の森」は、すべての学校からバスで片道30分以内の距離にあります。「文化の森」にある豊かな自然や博物館資料及び設備は、児童生徒がふだん学校ではできない、本物から学習することを可能にしたといえるでしょう。加えて送迎のバス、給食センターの協力による給食配送システムを置き、ほぼ学校と同じように過ごせます。また「文化の森」は、ミュージアムと教育センターとの複合施設であり、他の博物館にはない学校とのネットワークを結んでいます。

(3) 学校とミュージアムが一緒につくりあげる学習

教科の授業としてカリキュラムの中に位置づけ、見学だけで終わらない学習活動を実現し、継続的な学習の機会を考えていきます。文化の森の人、もの、こと、場を活用し、ここでしかできない体験を通してより深い学習を重ねていきます。

(4) 学習の効果を高めるためのシステム

○小中学生を対象とした教育普及事業を担当する「学習係」があります。学校間の活動日調整や教員との打ち合わせ、活動準備などを学校活用に関わるすべての業務をおこないます。活動時は、チームティーチングで教員、学芸員とともに子どもの学習に携わります。(図2参照)

○子どもの学習の際には、「ボランティア」(学習を支援する学習支援ボランティア、昔ながらの料理を伝える伝承料理の会、昔の道具や体験を伝える生活体験ボランティアなど)がT4の立場で授業に参加し

ます。児童生徒が学習で来館した際に引率や安全確保、理解を深めるための声かけをし、時には講師として活動に参加します。子どもたちは、様々な年代のボランティアからいろいろな知識や技術、生き方を学びます。同時にボランティアは、子どもたちと一緒に活動することで、今までにない発見や、新しいことに関心を持つ機会が増えています。ボランティア自身の生きがいにもつながっています。

○給食センターからの給食受け入れ設備(配膳台や冷蔵庫など)があります。学校と同様に給食をとり、終日じっくりと時間をかけた学習が可能です。

○文化の森と学校とをつなぐ「バス」があります。

○市内の小中学校の教員(各校より1名)と文化の森の職員が参加する「文化の森活用委員会」があります。学習活動の工夫や運営を話し合います。

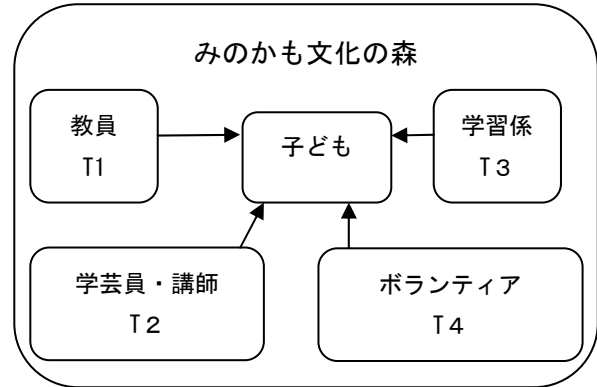
○『みのかも文化の森 活用の手引き・活用実践集』を作成しています。文化の森活用委員会作成のプランや実際に活動したプログラム、活動に役立つ資料などをまとめています。

○学校と教育委員会をつなぐイントラネット〈逍遙ネット〉があります。文化の森での打ち合わせ内容を確認したり、活動案やバス申請書などのデータ送信をしたりできます。

○文化の森HPの「森の学校」には、活用した学校の様子の写真などを掲載しております。

○「森の学校たより」を作成し、各学校の教職員に配布しています。展覧会情報や子ども向けイベント・講座の情報、活用した学校の様子の写真などを載せ、PRをおこなう学習係の広報紙です。

図2：文化の森でのチームティーチング



3. 文化の森のねがい

文化の森で行われる学校活用は、美濃加茂市の子どもすべてが等しく得ることができる「博物館への入り口」です。文化の森や他の地域社会・人々とかかわることは、未来を担う「美濃加茂市民」を育てることにもつながります。そして、生涯にわたって博物館とかかわることができる文化的な市民を育てることにもつながると考えています。文化の森の活動が、子どもたちの豊かな心を育てる一助になればと思います。